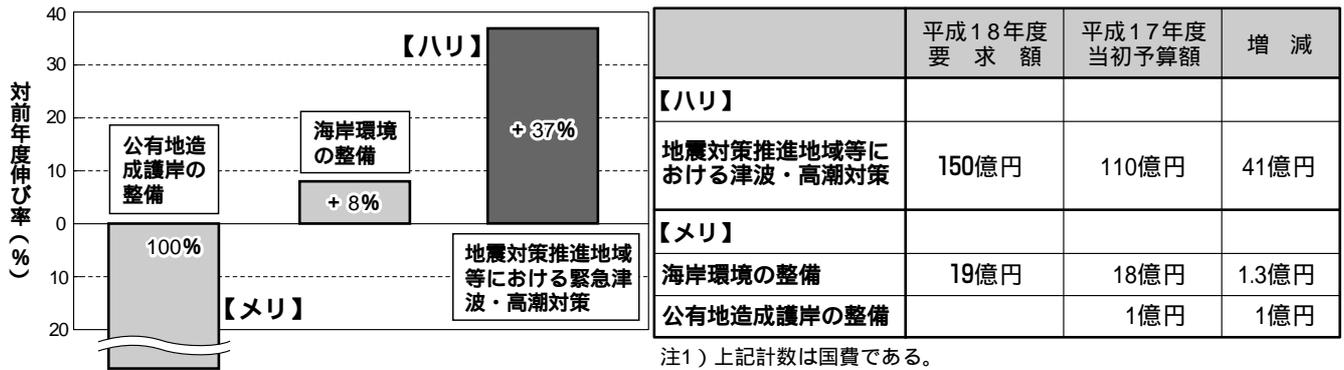


。効率的・効果的な海岸事業の推進

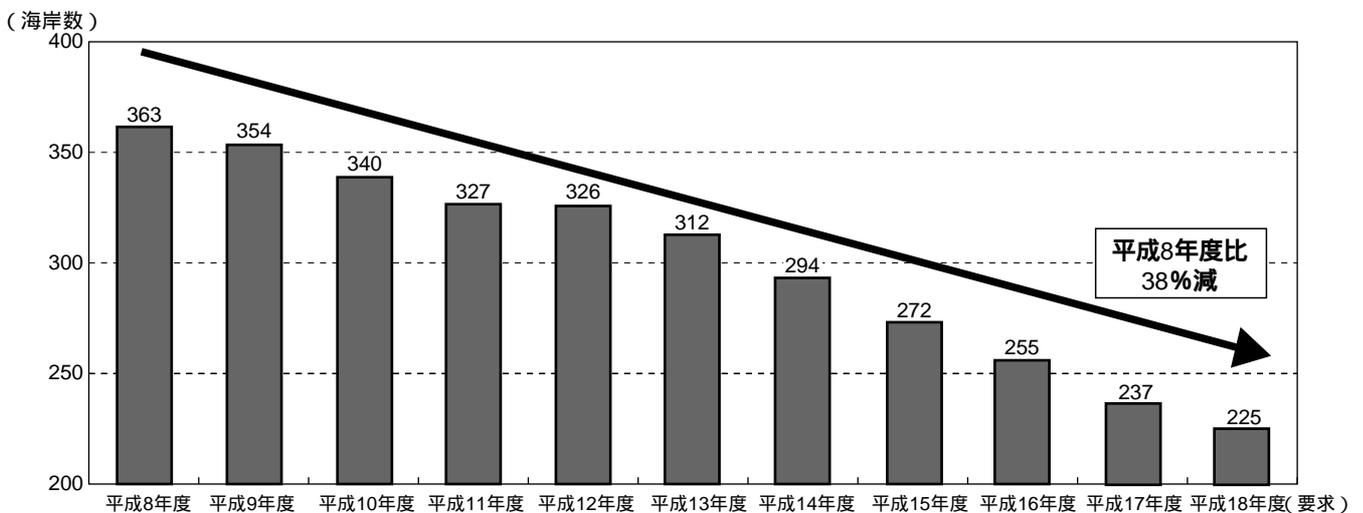
1 事業実施の効率化による供用効果の早期発現

緊急な津波・高潮対策への予算の重点要求など、メリハリある要求を行うとともに、事業実施におけるコスト縮減と事業実施箇所の選択と集中とを一層推進し、供用効果の早期発現に努める。

平成18年度予算要求における投資のメリハリ



海岸事業実施海岸数の推移



2 事業間連携の強化

所管の異なる隣接海岸における事業について、所管の一元化（海岸法第40条第2項の活用）を推進し、効率的な海岸整備に努める。

また、津波・高潮対策において、港湾整備事業との連携を一層推進するとともに、河口域における治水事業との連携など事業間連携を強化する。

3 人命の優先防護に向けたソフト対策等の充実

ハード整備中心の海岸行政から、避難対策等のソフト対策の充実や、既存ストックの適正管理を図った海岸行政への転換を一層推進する。このため、津波危機管理対策緊急事業の拡充を図るとともに、海岸保全基本方針及び海岸保全基本計画において、海岸保全施設の維持に関する事項を充実する。